

平成29年度事業報告

細島水先区水先人会

(事業概要)

平成29年度は当水先区における水先業務の安全かつ円滑な遂行に資するため、合同事務所における水先の引き受けに関する事務、会員の指導及び連絡に関する事業を実施した。

1. 重点事項

前年に引き続き利用者の信頼に応え得る水先業務の遂行に資するとともに引き受け窓口業務の円滑な実施を図るため、法人水先人会としての会則等の遵守、事業体制及び合同事務所運営の整備、確立を重点事業として推進した。

2. 各事業

(1) 適正化事業

・「業務制限を含む海難対応規程」の整備、新人水先人実務研修規程の制定など必要な会則の変更認可申請を行った。

(2) 水先業務の円滑な遂行のための事業

・水先業務の引き受けに関する事務及び通信の実施
・会員の水先料金收受及び支払い事務の実施(関連経費の收受、支払いを含む)
・前年に強く要望していたタグボートのリプレースに関し、本年度も可能な限り早期実現を要望した。
(県の関係者から本年度中には目途を立てたい旨の回答を得た)

(3) 水先人養成関連事業

・要員不足を補充できなかったことにより 29年度における新規養成事業はゼロであったが、次年度以降は新しい水先人の加入となるため、会則を含め予算、資料などの整備を行ってきた。

(4) 会員の指導・連絡

・海上保安署および港湾工事関係者より入出港安全に係る情報入手の上会員に周知徹底をした。
・港湾管理者および港長を適宜訪問し、意思疎通を図ると共に情報交換を行った。

(5) 水先人の会務関係事業

・ユーザーおよび関係団体からの要望に応じて技術的な助言など協力業務を行った。
(大型船の入出港及び係留時における安全基準の検討、作成など)

(6) 業務取次窓口業務

・支援水先人不在中(非番時)における必要な連絡は電話のほかメールの活用等により極力前広に情報を提供、共有することにより取次業務の円滑化を図ってきた。

(7) その他の事業

・水先料上限設定(変更)認可を得て平成29年4月1日より新規料金表の適用を始めた。
・後継者問題を具体的に解決すべく、候補者の選定及び応募時期の打ち合わせを行った。

3. 会員の現況および異動

平成28年度末現在 在籍者数	入 会	退 会	平成29年度末現在 在籍者数
2 名	0 名	0 名	2 名

4. 平成29年度水先実績

日 本 船			外 国 船			合 計		
隻数	総トン数	水先料	隻数	総トン数	水先料	隻数	総トン数	水先料
8	401,136	926,827	110	3,140,163	10,998,004	118	3,541,299	11,924,831